

第1学年3組 生活科指導案

平成30年6月14日（木）第5校時 1年3組教室

指導者 水野晋作

1 単元名「みつけよう つうがくろのひみつ」

2 単元目標

- ・通学路の様子とその安全を守っているものや人々に関心をもち、気付いたり調べたりしたことを進んで発表することができる。
(関心・意欲・態度)
- ・通学路が決まっている理由について考えたり、考えたことを伝え合ったりすることができる。
(思考・表現)
- ・通学路にあるものや地域の人々に自分たちが守られていることに気付き、安全な登下校を行おうとすることができる。
(気付き)

3 単元について

(1) 子どもの姿

本校の児童は全員が徒歩で通学している。保護者や地域の防犯パトロールの方の協力で安全な登下校を行うことができているが、児童自身は通学路の安全を守ってくれる人々や施設をあまり意識しておらず、どんな危険から守ってもらっているのかを気付くことができていない。こうした児童の実態から、生活科の学習を通して、普段当たり前前に歩いている通学路にはどのような危険があり、そのような危険から守るためにどんな工夫がされているのかを考えさせたい。また、通学路の様子や、子どもたちや地域を守っている人々の存在に気付くことにより、子どもたちが自ら安全な登下校を行おうとすることができるようにしていきたい。

(2) 単元構想について

つかむ段階では通学路への関心を高めることができるように、日高小学校の通学路を赤く記した地図を掲示し、登下校で通る道が決められていることに気付かせる。そして、通学路を撮った写真を掲示し、通学路は他の道と何が違うのかを考えさせたい。

深める段階では、通学路を探検していく。どの子も実際に自分たちが通っている通学路を見ることができるように探検を2回設定する。自分の通学路を探検することで関心を高め、他の通学路にも同じものがあることに気付くことで考えを深める。1回目の探検では通学路には安全のためのものがあることに気付かせる。2回目の探検では1回目で気付いたことをもとに、安全のためのものがどんな場所にあるのかという視点をもって探検できるようにする。また、交通安全教室や普段の登下校で指導員の方と触れあっている写真を掲示し、地域の方へも興味が向けられるようにする。そのような児童の気付きを基に話し合い活動を行い、通学路には自分たちが安全に通学するための秘密がたくさんあることや、ものだけでなく地域の人々にも守られていることに気付かせたい。

広げる段階では、深める段階で気付いたことをもとに、自分たちが安全に通学するための作戦を考えさせることで、安全に対する意識を高める。そうすることで、子どもたちがより安全に登下校をすることができるようになってほしいと願う。

(3) 自他の考えを大切にし、主体的に学びを深める子を育てるために

①自分ごととしてとらえる

- ・自分が毎日通っている通学路について取り上げ、自分ごとの課題としてとらえさせる。また、登下校で通る道が決まっているのはなぜかを考えさせることで、意欲的に学習に取り組むことができるようにする。

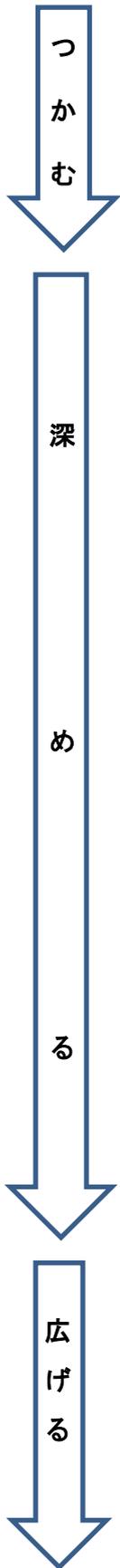
②きいてみタイムの設定

- ・話し合う場面では、通学路の写真や児童が探検でかいたカードを掲示し、児童が説明しやすいようにする。児童が自信をもって発言することができるように、適宜ペア対話を取り入れる。

③振り返る場の設定

・単元の終わりに学んだことを基に「安全大作戦」を考えさせることで、学びを生活の中で活かすことができるようにする。

(4) 単元計画



つうがくろってなんだろう①

- ・日高小学校の周りの地図だね。
- ・僕の家もあるよ。
- ・赤くなっている道は何かな。
- ・どうして学校に来る道が決まっているのかな。
- ・通学路は他の道より安全だと思う

たんけんのじゅんぴをしよう②

- ・2列でまっすぐ歩くよ。
- ・先生の話をしっかりするよ。

つうがくろのあんぜんをみつけよう。③④

- ・地下道を通ったよ。
- ・鏡があったよ。
- ・道が緑色だね。

つうがくろでみつけたことをはっぴょうしよう⑤

- ・横断歩道があったよ。
- ・曲がるところに鏡があったよ。
- ・安全のためのものはどんな場所にあるのかな。

あんぜんのひみつをみつけよう⑥⑦

- ・地下道は車にぶつからないためにあるとおもう。
- ・鏡は道が分かれているところにあるね。
- ・横断歩道は大きな道にあるね。

あんぜんのひみつをはっぴょうしよう⑧本時

- ・大人の人が立ってくれている場所は車が多くて危ないよ。
- ・鏡をよく見ると車が来ているか分かるよ。
- ・通学路ってものだけじゃなくって、人にも守られているんだね。

あんぜんだいさくせんをかながえよう⑨

- ・鏡の場所は先が見にくいから気をつけよう。
- ・大人がいる場所は車が多くて危ないから周りをよく確かめよう。
- ・緑の道の端っこを通ろう。
- ・パトロール隊の人の話をよく聞こう。

課題を自分ごとにする工夫

日高小学校の通学路を赤く記した地図を掲示し、通学路への関心を高める。

関わり合う場の工夫 (自分の考えをもつ)

カードに探検で見つけたものを絵や言葉で記入し、見つけたものをまとめていく。

関わり合う場の工夫 (全体きいてみタイム)

カードを「横断歩道」などの事柄ごとに模造紙にまとめ教室に掲示し、見つけた物を振り返ることができるようにする。

関わり合う場の工夫 (ペアきいてみタイム)

意見が出なかつたり、児童に考える時間が必要な時には、適宜ペア対話を取り入れ、自信をもって発言できるようにする。

関わり合う場の工夫

(きいてみステージアップタイム)

通学路の写真を掲示する中で、安全を守ってくれる人に注目させ、ものだけでなく人についても考えることができるようにする。

振り返る場の設定

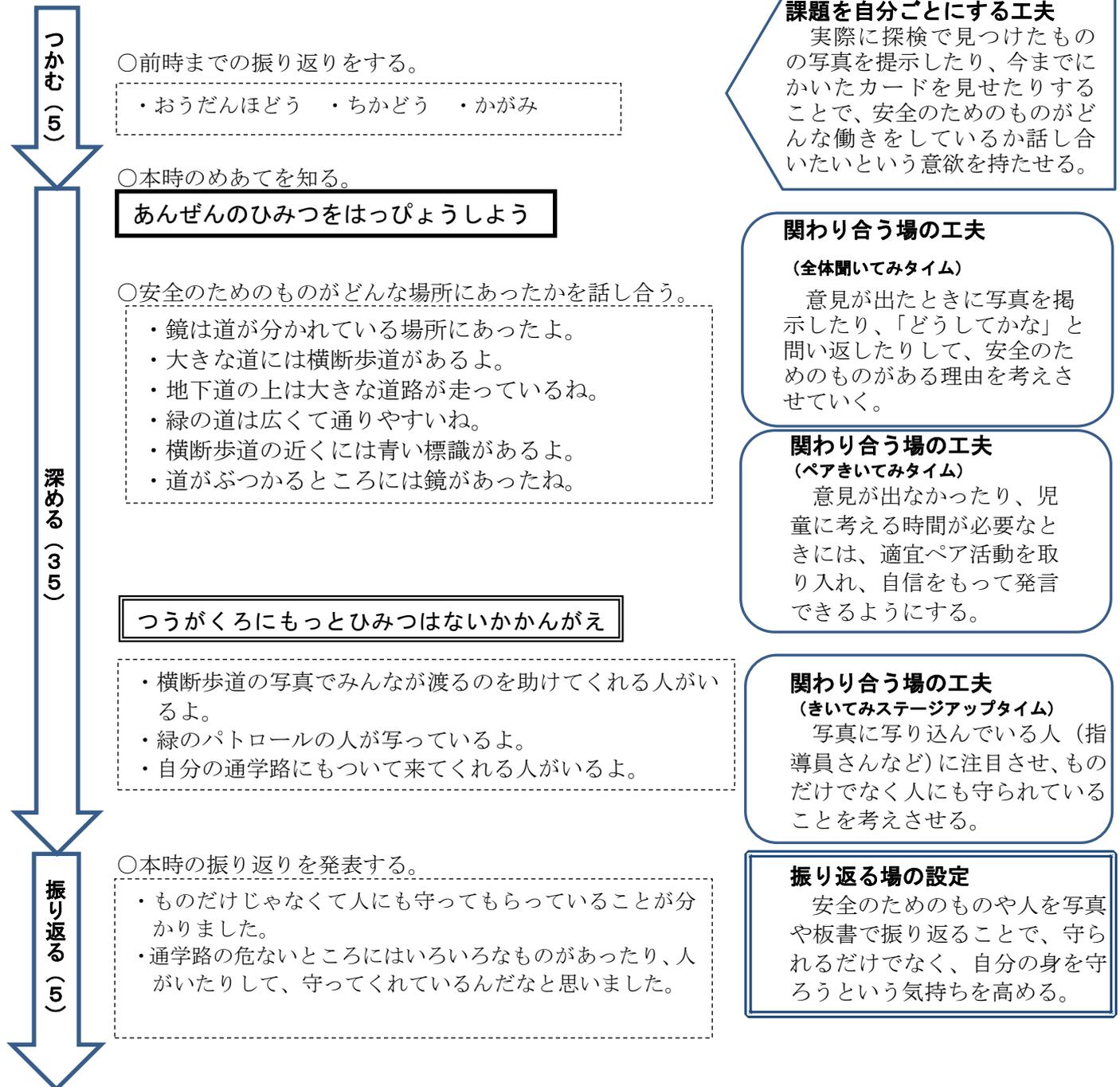
これまでの学習を振り返り、安全大作戦を考えさせることで、自分の学びの深まりを実感させる。

4 本時の指導（8／9）

（1）本時の目標

- ・通学路で見つけた、安全のためのものについて進んで発表することができる。（関心・意欲・態度）
- ・探検で見つけた物がなぜそこにあるのかを考え、伝え合うことができる。（思考・表現）
- ・登下校ではいろいろなものや人に守られていることに気づくことができる。（気づき）

（2）本時の展開



（3）評価

- ・通学路で見つけた、安全のためのものについて進んで発表することができたか。（発言・授業態度）
- ・探検で見つけた物がなぜそこにあるのかを考え、伝え合うことができたか。（発言・授業態度）
- ・登下校はいろいろなものや人に守られていることに気づくことができたか。（発言・授業態度）

(4) 板書計画

あんぜんのひみつをはっぴょうしよう

こうさてん みらあ ちかどう ばとろおるのひとたち みどりのみち

しみずさん



おつたんほどう



まからとろ。くるまがみえる。つうかくろ
1人ようしき



おおきなみすに
ある。



くるまがとまて
くれる。



ちかどうはくらい。
たすけがよべる。



うえはくるま。ふつからない。ひろくてあんしん
きんきゅうほたん



もつひみつはないかな。
しみずさんはいつもおつたんほどう
にいてくれる。
ばとろおるのひとがいしよに
がえてくれる。
ものだけでなく
まもってくれるひと
がいる。

6月 12日 日曜日 直
おつすけ
せあやけ

(5) 高評
